

# カシオ「サステナビリティレポート2010」に対する第三者意見

当意見は、本報告書（ウェブ版）の記載内容、および同社の環境・資材・人事・CSRの各担当者へのヒアリングに基づいて執筆しています。

同社のCSRへの取り組みは、環境負荷削減を中心に、PDCA（マネジメント・サイクル）を進め始めていると言えます。

## 高く評価すべき点

- ・中長期的な環境負荷削減について、2050年に向けた指針として「環境ビジョン」を策定し、「環境宣言」を行ったこと（P13-20）。その実現に向けて、グループやサプライチェーンの内部はもとより、最適な利用方法をナビゲートし、廃棄時のリサイクル率を向上するなど、顧客を巻き込んだ製品のライフサイクル全体に及ぶ取り組みの進展に、強く期待します。
- ・調達先のCSRへの取り組み（P61-63）について、海外の取引先に環境負荷の削減や働く人々の人権への配慮・対応などへの取り組みをたずね、集計結果に基づいて各社にフィードバックするとともに、日本国内の取引先には電子情報技術産業協会（JEITA）の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」の全340項目の5段階評価を行うなど、把握と可視化を進めたこと。また、欧州の消費者団体による立ち入り調査を受け入れ、特に透明性について高い評価を得たこと。今後は、サプライヤーの環境や人権への取り組みや課題の可視化をさらに進め、事例の共有や表彰、課題解決に向けて交流する体制を整えることを、引き続き期待します。

## 取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

- ・CSRのグループ全体での取り組み（P32-33）について、10年3月には、社会から要請される課題に各部門が主体的に検討・推進するために、CSR委員会を改組したことを高く評価するとともに、今後は、その趣旨を最大限に生かした、ボトムアップの促進・確立に強く期待します。
- ・上記に関連して、社内報でCSRに関する連載を続けていることを評価するとともに、今後は、特に重要な課題や、グループ内の多様な現場の取り組みについても継続的に紹介されることを期待します。
- ・紙の使用量について、取扱説明書のサイズ縮小やページ数削減などにより、電子辞書などの製品で前年比39%減となったことを評価するとともに、ユニバーサル・デザイン・フォントの導入など、より大きな貢献に結び付けていただけるよう期待します。
- ・本報告書の記述内容として、環境負荷削減に関するデータについては、グループ会社を含む国内外の主要拠点の詳細を紹介していることを評価しつつ、環境以外、特に人事・調達関連の取り組みやデータについても、グループとしての報告書としての精度を高めることを、引き続き期待します。
- ・障害を持つ人の雇用の促進（P68）について、長年の課題であった法定雇用率の達成を評価するとともに、グループ企業を含め、働き続けやすさを向上するための工夫を、当事者の協力を得て進めること。

## 一層の努力を求めたい点

- ・デジタルカメラ、電子辞書など、高機能ながらリサイクルが確立していない製品群について、稀少金属（レアメタル）再利用の観点から、同業他社との検討もさらに進めるとともに、販売促進と連動し

た回収や再利用製品の開発を促すこと。

- ・グループ全体の人的多様性の向上と活用について、今後の事業展開におけるグローバル化の一層の推進は必須であることから、グループ全体の10年後を視野に入れ、部門や法人の枠を超えたグローバルな人的ポートフォリオを想定し、人材の採用・育成・交流などあらゆる機会を通じて推進する統括責任者（グローバル人材オフィサー）を任命するとともに、真にグローバルな企業として人的な多様性を積極的に活用できる採用・育成体制を整えること。

#### IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]



IIHOE：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。  
<http://blog.canpan.info/iihoe/>（日本語のみ）

川北 孝人 敬